

様式第1号（第6条関係）

協働事業に関する提案書

令和6年1月10日

（あて先）狭山市長

団体名 災害時情報通信ネットワーク準備会

所在地

代表者名 吉田徹弥

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	行政提案型協働事業
2 事業名	災害時に活躍するアマチュア無線ネットワークの構築
3 事業期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
4 事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	総額 300,000 円（内補助金申請額 300,000 円）
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	大規模災害時に携帯電話などの通信ネットワークが利用できなくなった場合に備え、狭山市内の無線従事者、団体が参加できるネットワークを構築し、有事の際に備え、平時より情報交換のための通信訓練、ネットワーク拡大イベントの開催、勉強会を行う。
7 希望する担当課 ※不明の場合は未記入	狭山市 危機管理課 危機管理防災担当（内線 3694）
8 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書（様式第2号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書（様式第3号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール（様式第4号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書（様式第5号）



協働事業に関する企画書

団体名 災害時情報通信ネットワーク準備会

<p>1 事業名</p>	<p>災害時に活躍するアマチュア無線ネットワークの構築</p>
<p>2 事業の詳細</p>	<p>大規模災害時には、携帯電話やインターネットが利用できなくなる場合がある。その時に市民間、行政職員間の通信網として役立つのがアマチュア無線です。</p> <p>有事の際に役立つものは、日常的に利用しているからこそ役立つものであるため、アマチュア無線技士の免許を持つものを集め、また育成し、それら無線従事者が集い、有事の際の最適な通信方法やそれに付随する科学技術の研究を行うことで、大規模災害時の情報通信網の確保を行う。</p> <p>市制施行 70 周年記念事業において記念局運用を通じ、無線従事者を集める。</p> <p>そのために以下7つの重点事業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定例会議（月1）・全大会（年4回）の開催 2. 狭山市内の無線従事者に参加要請 3. 狭山市民の無線従事者育成 4. 無線通信・防災に関する勉強会・研究会の開催 5. 定期的な無線通信訓練の開催 6. 無線通信・防災（科学技術）をテーマにしたイベント開催 7. 市制施行 70 周年記念事業への参画（記念局の運用）
<p>3 実施体制</p>	<p>新しく「災害時情報通信ネットワーク準備会」なる組織を作り、個人・団体による参加者を募る</p> <p>会長 1 名 副会長 2 名 会員 顧問</p> <p>【支援団体】 スタークラブ / 狭山アマチュア無線倶楽部 / 狭山工業高校アマチュア無線部</p>
<p>4 役割分担</p>	<p>【提案団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本プロジェクトへの市民に向けた参加要請 ● アマチュア局の設置（記念局・社団局） ● 勉強・研究会、会議、イベントの企画運営 ● 無線従事者の育成（免許取得・運用実務） ● 定期的な無線通信訓練の実施

	<ul style="list-style-type: none"> ● その他付随する業務
5 協働の効果	<p>【市の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害時に利用できるアマチュア無線設備を市庁舎に設置 ● 勉強・研究会、会議、イベント会場の確保 ● 市職員内の無線従事者への参加呼びかけ ● 市報や学校への広報（イベントなど） ● 防災訓練・消防団へのアマチュア無線利用推進 ● その他付随する業務 <p>本事業を通じて、通信上だけでなく、定期的な会合を開くことで、面識のある確かな人間関係の構築につなげる。</p> <p>狭山市内在住のアマチュア無線技士を集め、有事の際の通信方法を定めておくことで、災害時に円滑な情報伝達が行えるようにするための基盤を整備する。</p>
6 事業のアピールポイント	<p>2024年1月1日に発生した、能登半島地震においては、やはり情報の伝達ができなくなり、孤立する集落が見られた。携帯電話の基地局もバックアップ電源により、72時間通信が可能であったがその後は機能しなくなった。このことは既に想定されている事であるため、当市を襲う災害発生時には、市民により情報ネットワークが展開され、災害時の情報収集活動に貢献できます。</p>